

Title	運営委員会報告
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 2 P.28-P.28
Issue Date	1973-04
Text Version	publisher
URL	<a href="http://hdl.handle.net/11094/4106">http://hdl.handle.net/11094/4106</a>
DOI	
rights	
Note	

***Osaka University Knowledge Archive : OUKA***

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/>

## 低温センター運営委員会報告

1. 47年度にヘリウム液化機の豊中地区新設が認められたことが報告された。
2. 3月の委員会において、48年4月1日からのセンター長として理学部 伊達教授、副センター長として工学部 吉永教授を選出した。任期は2年
3. 4月1日からの運営委員が関連の各学部から選出されたが、全員同じ顔ぶれとなった。
4. 4月の委員会において運営委員会委員長に基礎工学部 永宮教授を再選した。任期は1年
5. 同上委員会において、49年度概算要求の大綱を決定した。

## 低温センター豊中分室からのお知らせ

運営委員会よりの報告にもありますように48年度概算要求のうち豊中地区大型ヘリウム液化機の購入が認められました。大型液化機の設置により豊中地区の液体ヘリウム供給は大巾にふやすことができる予定ですが48年度に於ては工事のためむしろ例年より少い供給しかできなくなります。工事は秋(開始日は未定)より始まり49年3月中には完了の予定ですがその間、現液化機の移動などのためほとんど液体ヘリウム及び水素を供給できないと思われれます。液化室としてはできるだけ工事期間の短縮をはかるよう努力はいたしますが、利用者各位は事情をよくお含みおきの上、今年度の実験計画をたてていただくようお願いいたします。

## 吹田地区運営委員会報告

昭和48年4月9日

1. 共同利用実験室申込みを審議した結果、次の研究テーマに対する使用を承認した。
  - 吉 永 弘：波長選択性を有する遠赤外検知器とこれを利用する遠赤外分光装置の研究
  - 中 井 順 吉：マグネット・フォノン共鳴とシュブニコフ・ド・ハース効果の実験
  - 犬 石 嘉 雄：半導体・分子性結晶の励起子発光と非線型光学効果の研究
  - 岡 田 京 一：第Ⅰ種超電導材料に対する中性子照射効果、アルカリハライド単結晶の低温における塑性
2. 47年度予算によってSQUID(SHE製)が購入されたことが報告された。
3. 49年度概算要求について吹田地区の要望をまとめた。